

「最低賃金の大幅な引き上げを求める」街頭署名行動

6月17日「山交ビル前」において、7月より実施される「山形地方最低賃金審議会」を前に、7月3日山形労働局要請「最低賃金の大幅な引き上げを求める街頭署名行動」を行いました。弁士に立った、大泉会長・森事務局長・井上電機連合山形地協事務局長・館内副事務局長は、県内の地域最低賃金は現在、時給665円で、年間2,000時間働いても年収は130万円であり、この額では「健康で文化的な最低限度の生活」は不可能である。全国最下位クラスにある金額を大幅に引き上げ、早期に時給800円に引き上げていかなければならない。また、県内では最低賃金を守らない経営者も見られ、最低賃金法の遵守を求める訴えを行いました。

また、街頭では「労働者保護ルールが改悪されようとしている」現状と、連合山形は断固阻止していくチラシとテッシュを配布しながら、署名活動を行いました。

